



やるき
ほんまきま
木佐木

神奈川県議員

日本共産党

2024.9.25

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年山口県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

平和・教育・暮らし 県の役割発揮を！

定しながら、再質問などの準備を進めています。

共産党ならではの質問項目

今回の質問は、核兵器廃絶の条約批准に後ろ向きな国に対して、核廃絶への前向きな対応を促す県としての取り組みや、米軍に配慮するあまり住民の安全を後回しにしてきた国に抗議し、県として新たな情報共有ルートを確立することを求めるなど決して他党派が取り上げることのない角度の共産党ならではの項目が並んでいます。

県議団では、本会議の質問後に傍聴者の方と意見を交換する場を持つことも行っています。

ぜひ機会がありましたら傍聴にお越しください。また、こちらの QR コードからインターネットで質問の録画をご覧ください。



質問項目が
決まりました！

神奈川県議会
大山奈々子 議員
一般質問
9月26日(木)
13:00 - 13:55

日本共産党県議団
団長 大山奈々子

年に一度の本会議質問の機会

9月26日に大山奈々子団長が本会議での質問に立ちます。現在3人の会派である共産党県議団は、毎議会の本会議で会派を代表して質問をする時間が割り当てられる交渉会派(4人以上が要件)ではありません。議員各人に1回30分の時間が割り当てられる一般質問しか本会議で質問をすることができず、会派にドント方式で機会が割り当てられるので、一人会派だと4年に1回しか質問できません。

少なくなった質問機会を少しでも取り戻そうと毎議会1万文字近い質問趣意書で様々な課題を取り上げていますが、再質問をすることができないため、知事の答弁を受けたさらなる追及で深堀ることができないのが非常に悔しいです。

貴重な機会をしっかりと生かすために、県の答弁を想

— 質問項目 —

◆国際平和について

- ・核兵器禁止条約と平和について
- ・米軍犯罪の情報提供について

◆教育環境改善について

- ・夜間中学や定時制高校における就学機会確保について
- ・特別支援教育の充実について
- ・教員未配置問題と臨時的任用教員の正規化について

◆県政の重要課題について

- ・人工透析患者の地域生活や施設入所を支える取組について
- ・農業を守り育てる施策について
- ・無料低額診療事業の充実について
- ・多様な性の性被害を救済するために

